



LinkCube文字あふれ⁺

あふれ処理や行長・行数指定ができる

あふれた文字や、指定したスタイルが適用されている文字を水平比率・垂直比率、フォントサイズ、行送りで調整するプログラムです。

段落・文字スタイルを指定して各スタイル毎の処理設定や、あふれたテキストフレームの一括処理もできます。スタイルを指定した場合には、テキストフレーム内に文字が入るまで処理、または指定した行長や指定した行数にすることができます。テキストフレーム内で均等にあふれ処理をすることもできます。処理方法のデフォルト設定ができます。

処理限度後、元に戻したり、処理の追加ができる

処理限度までいってもあふれている場合に元に戻すこともできます。

処理限度後の追加処理として、「スタイル変更、文字列に色を付ける、テキストフレームを広げる、ユーザースクリプトを実行」を選択できます。

設定した値を保存できる

処理方法のデフォルト値を設定できます。

設定値をファイルに保存し、いつでも利用できます。

保存した設定ファイルは、シェルコマンド（Shell、AppleScript、バッチファイル）から実行可能で、連続処理に使用できます。

Mac 版 実行方法

初回起動時のみ [実行 .command] を Control キーを押したままクリック（コンテキストメニューを表示）で「開く」し、「開く」をクリックします。

次回以降起動時は、[実行 .command] をダブルクリックします。

アプリを終了してもターミナルが残っているのが気になる場合は、ターミナルの環境設定で

プロファイル→シェル→シェルの終了時を、シェルが正常に終了した場合は閉じるにしてください。

Windows 版 実行方法

[実行 .bat] をダブルクリックします。

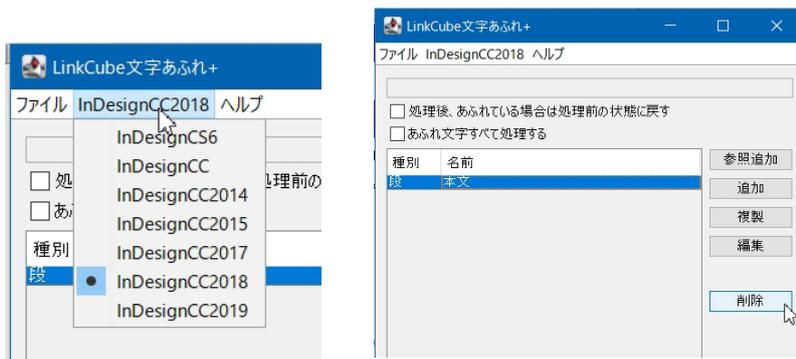
機能説明

1. メニューバーから使用する InDesign のバージョンを選択します。



**あふれ文字すべて処理の場合
は編集のみ**

[あふれ文字すべて処理する] にチェックの場合は、[編集] ボタンのみ有効になります。



💡 Tips スタイルは複数選択可能

スタイル選択時、
 (Win) Ctrl キー /
 (Mac) command キー + クリック、
 Shift キー + クリック
 などで複数選択できます。

文字があふれているすべてのテキストフレームを処理する場合は、[あふれ文字すべて処理する] にチェックを入れます。

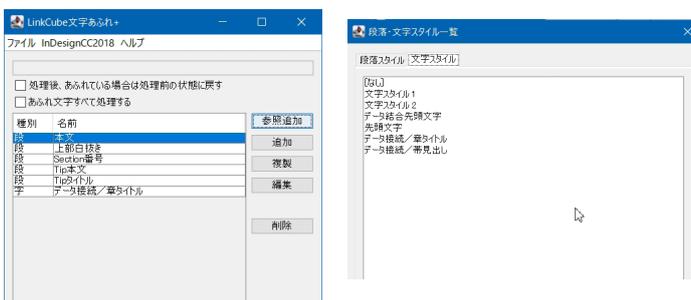
- スタイル毎に、あふれ設定や行長指定、行数指定をする場合は、[あふれ文字すべて処理する] にチェックを入れず、[参照追加] または [追加] で、処理したいスタイルを指定します。
- [参照追加] をクリックすると、[段落・文字スタイル一覧] のダイアログが表示され、ドキュメントのスタイルが参照できます。
- [追加] をクリックすると、[あふれ処理設定] のダイアログが表示されます。
- スタイルを [追加] された場合は、スタイル名が空のなので、スタイル名を入力するか、[参照] をクリックし、ドキュメントのスタイルを参照してください。
- あふれ処理を実行後、まだあふれている文字を処理前の状態に戻したい場合は、[処理後、あふれている場合は処理前の状態に戻す] にチェックを入れます。

2. [実行] をクリックします。

段落・文字スタイル一覧

1. [参照追加] をクリックします。
2. あふれ処理設定するスタイルを選択し、[OK] をクリックします。
3. 選択したスタイルがリストに表示されます。

あふれ処理の優先順位は、上から順になります。優先順位を変更する場合は、スタイルを選択して、移動先までドラッグします。



💡 Tips スタイル名について

入力する場合、スタイルグループに入っているスタイルは、
 / (全角) で区切り、入力します。
 例えば、データ接続グループ内の
 商品名というスタイルの場合、
 データ接続/商品名
 となります。
 同じスタイル名は追加できません。

あふれ処理設定

あふれ処理をするスタイルを選択し [編集] をクリック、またはスタイルをダブルクリックすると [あふれ処理設定] を表示します。

処理方法の優先順位は、上から順になります。優先順位を変更する場合は、処理方法を選択して、移動先までドラッグします。



初期値に設定

ここで設定した値をデフォルトにしたい場合は、[現在の設定値を初期値にする] ボタンをクリックします。

種別とスタイル名以外の値をデフォルトにします。

[あふれ文字すべて処理する] の場合は処理方法のみ指定できます。



[現在の設定値を初期値にする] ボタンをクリックで、現在の処理方法の内容を初期値に設定します。

フレーム内で均一にあふれ処理する

[フレーム内で均一にあふれ処理する] にチェックが入った場合は [文字が入るまで処理をする] のみ選択できます。

行長指定または行数指定する場合は、[フレーム内で均一にあふれ処理する] のチェックを外してください。

処理前

- フルHDの約4倍の解像度で高精細
- バックライトのちらつきをなくした「フレッカーレス」設計
- ※目に与える影響が懸念されているブルーライト

処理後

フレーム内均一あふれ処理をする

- フルHDの約4倍の解像度で高精細
- バックライトのちらつきをなくした「フレッカーレス」設計
- ※目に与える影響が懸念されているブルーライトを、ディスプレイ本体で低減することができる

上3行と下2行を均一にあふれ処理をしました。

フレーム内均一あふれ処理をしない

- フルHDの約4倍の解像度で高精細
- バックライトのちらつきをなくした「フレッカーレス」設計
- ※目に与える影響が懸念されているブルーライトを、ディスプレイ本体で低減することができる

上2行だけあふれ処理をしました。

行長指定・行数指定

行長指定の場合は、[mm以下の行長にする] を選択し、数値(mm)を入力してください。

行数指定の場合は、[行以下にする] を選択し、数値(整数)を入力してください。

制限事項：行長指定と行数指定は全ての文字がフレーム内に表示されていなければなりません。

このように文字の一部のみ表示している場合には、処理できません。

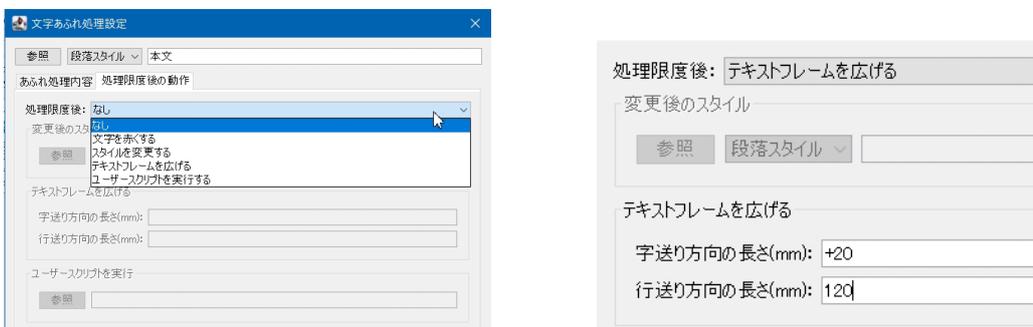
文字あふれ処理方法

3通りの処理方法があります。

横組は水平比率・縦組は垂直比率、フォントサイズ、複数行時の行送りの変更です。

- 比率の変更の単位は%です。フォントサイズの単位はQ・ptを指定してください。単位がない場合はQになります。
- 行送りの単位はmm・H・ptを指定してください。単位がない場合はmmになります。
- きざみ値に単位の入力が必要ありません。
- 処理方法を追加する場合は、[追加] ボタンをクリックしてください。
- 削除する場合は、削除する処理方法を選択し、[削除] をクリックしてください。
- あふれ処理の優先順位は、上から順になります。優先順位を変更する場合は、処理方法を選択して、移動先までドラッグします。

処理限度後の動作



あふれ処理を実行後、処理限度までいってもあふれている場合の追加処理を選択できます。

[処理後、あふれている場合は処理前の状態に戻す] にチェックがある場合は、元に戻してから実行します。

- [スタイルを変更する]：[参照] をクリックし、スタイルを選択してください。あふれた文字に選択されたスタイルを割り当てます。
- [文字を赤くする]：あふれた文字の色を赤 (C=15 M=100 Y=100 K=0) に変更します。
- [テキストフレームを広げる]：あふれた文字が含まれるテキストフレームを広げます。入力した数値の長さになります。頭に+を付けた数値を入力すると、数値分テキストフレームを広げます。例えば、字送り方向の長さを+20 mmと入力します。元が100 mmの場合、横組なら幅、縦組なら高さが、実行後、120 mmになります。+を付けない場合は、入力した数値の長さになります。
- [ユーザースクリプトを実行する]：[選択] をクリックし、ユーザースクリプトファイルを選択してください。あふれた文字に対して、スクリプトを実行します。

サンプルスクリプト：

```
// argument[0] に、あふれた文字オブジェクトの配列がわたります  
  
var texts = arguments[0];  
for (var i = 0; i < texts.length; i++) {  
    var idText = texts[i];  
    alert(idText.contents); // あふれた文字をアラート  
}
```

スタイルのあふれ処理 優先順位

並び替えたいスタイルを単一、または複数選択し、ドラッグ&ドロップしてください。

但し、同じフレーム内に「フレーム内で均一にあふれ処理をする」にチェックがあるものとないものが混在する場合、「均一にあふれ処理をする」のチェックがない方を先に処理します。

下記の例では、太字の文字が「均一にあふれ処理をする」にチェックがないため、先に処理しました。

処理前

ブルーリダクション搭載、保護ガラスフィルター搭載モデル

- フルHDの約4倍の解像度で高精細
- バックライトのちらつきをなくした

処理後

ブルーリダクション搭載、保護ガラスフィルター搭載モデル

- フルHDの約4倍の解像度で高精細
- バックライトのちらつきをなくした「フレッカーレス」設計

※目に与える影響が懸念されているブルーライトを、ディスプレイ本体で低減することができる

スタイルのあふれ処理 複製

複製したいスタイルを選択し、複製をクリックします。

「元の名前のコピー」のスタイルが作成されます。

あふれ処理設定も複製されます。スタイル名を修正してください。

ファイルメニュー 開く・保存・上書き保存・終了

【新規】：設定されている値をクリアします

【開く】：文字あふれ処理の設定値ファイルを開きます。

【保存】：開いた json ファイルを上書き保存します。

【別名で保存】：別名でファイルを保存します。

【終了】：LinkCube 文字あふれ+アプリケーションを終了します。

シェルコマンドで実行する方法

保存したあふれ設定ファイル（拡張子 json）を指定します。

Mac の場合：

インストールフォルダ / 実行 .command " あふれ設定ファイル "

例

```
インストールフォルダ / 実行 .command "/users/abc/desktop/ あふれ設定 .json"
```

Windows の場合：

インストールフォルダ / 実行 .bat " あふれ設定ファイル "

例

```
インストールフォルダ / 実行 .bat "/users/abc/desktop/ あふれ設定 .json"
```

対応 OS・対応 InDesign

対応 OS:

Windows・Mac OS

対応 InDesign:

InDesignCS6～InDesign2024

更新情報

バージョン: 19.0

2023年12月1日更新

ソフトウェアに関するお問い合わせ先

合同会社リンクキューブ

<https://link-cube.net/>

mail : info_lc@link-cube.net